

CELULAS



ピアザ
NPO法人多言語広場セルラス

世界に通じる人材の育成をめざして

2016

Vol. 4

CONTENTS

P.2 青少年リーダーズトレーニングキャンプ2016

P.3 セルラスの海外ホームステイ交流（青少年）

P.4-5 **特集：『セルラスの多言語活動3原則』**
～私たちのあるある体験！～

P.6 セルラスが出会った留学生
～エドマンさん（香港）～
世界クイズ ～イランの人に聞きました！～

P.7 お父さんの目線
～お父さん、ピアザへ Let's go!～
世界のレシピ
～作ってみよう！ ディーちゃん@リトアニアの
ゼマイチュウ・ブリーナイ&シルケ・パタロセ～

P.8 INFORMATION

セルラスの多言語活動3原則とは

人間は母語や自分の生まれ育った地域で話されている言語を、特別な障害がない限り誰でも話せるようになっています。

セルラスはその事実に学び、従来の外国語教育にみられる「外国語と向き合う」のではなく

『人と向き合い・人と一緒に』を前提として

「想像力+創造力」「音声」「必然性」の3原則を基に多言語活動を実践することで、世界に通じる力を育んでいきます。

青少年リーダーズトレーニングキャンプ

3/29~3/31 in 静岡県立三ヶ日青年の家

セルラスでは、春休みの2泊3日で中高生を対象に、リーダーズトレーニングキャンプ（以後リートレと表記します。）を開催しています。
今年のテーマは、セルラスの多言語活動3原則について、自分の体験を通して考え、プレゼンテーションをすることでした。
みんなの話を聴き、ディスカッションをしながらテーマを深めていきました。



大人メンバーの声

教師の目線で見たリートレ

初めてリートレに参加しましたが、本当にびっくりしました!!
参加した子どもたちほとんど全員が、長〜いディスカッションの間、誰も飽きることなく、積極的に意見を言っていたからです。
ふつう学校では、率先して発言する子どもはクラスに3~4名くらいです。多分それは、明確なテーマを持ち、事前にピアザで発表したり準備会をしていく中で、ひとりひとりの参加意識が高くなり、人の話も興味を持って聞けるようになっていったからだと思いました。
(堺邦彦 小学校教師)

中高生の僕らがリートレで見つけたこと!

3原則はすべてつながっている!!

一人では変わらない!!

僕たちのグループでは、3原則はすべてつながっていて、その裏には、伝えたい気持ちとわかりたい気持ちがあるから、言葉がわからなくても通じ合えると考えました。
そしてその気持ちを発信するのを、僕たちは「心のアンテナ」と名付け、いつも心のアンテナを立てて人と向き合っていくという結論になりました。
(東高円寺ピアザ 中1 杉崎友則)

普段はあまり意見を言うのが得意でない子も、みんながどんなことでも聞いて受け止めてくれ、それに対してレスポンスしてくれるので、どんどん発言できていたと思います。実際今までとは格段に変わった子もいて、それを見てすごく幸せな気持ちになりました。このリートレで一番感じたのは、「一人では変わらない」ということです。みんなががんばっているから、励ましてくれる人が周りにいるから、自分ももっと変わりたいと思えるのだと実感しました。だから私も、常にみんなを支えられる人、変わりたいと思わせられる人になりたいと心から思います。
(永福町ピアザ 中3 中西七海)

そしてピアザでも、皆が強い意志や目標を!!

この2泊3日のリートレは皆がそれぞれ強い目標を持って参加するから、こんなに楽しくて充実したものになったと思います。でもこのリートレを機に、ピアザもひとりひとりが強い意志や目標を持ったら、もっとよりよくなるんじゃないかと思いました。
(六甲ピアザ 大1 賀川裕子)



夏だ! サマーキャンプだ! みんな集まれ~!

青少年サマーキャンプ2016 参加者大募集!

日時: 8/17(水)~8/20(土)
場所: 井川自然の家 静岡市葵区井川
参加対象: 小学3年生より大学生まで



「一歩前に!」が私の課題!

理事長のお話で「楽しむため」「変わるため」「自分のため」そしてそのために「一歩踏み出す」というのがありました。私はなかなか一歩前に出ることができませんでした。「誰かがしてくれる」という考えが強かったからです。「一歩踏み出す」がこれからの私の大きな課題です。
(明石ピアザ 中1 井上明音)

今度は自分より小さい子たちに!

今回のリートレでは、自分からバンバン発言できて楽しかったです。でもたくさん発言するのも大切だけど、サマーキャンプでは小さい子に「どう?」と聞いてあげたりして、みんなが発言しやすい環境になるようがんばりたいと思いました。
(広島準備ピアザ 中2 吉川陽奈子)

サマーキャンプでリベンジを!

今回のキャンプでは反省もあります。一つ目は皆の想像力についていけないかったこと、二つ目は言いたい意見を自分の中に閉じ込めてしまい、言えなかったことです。この二つの課題を踏まえ、サマーキャンプでリベンジをしたいと思います!
(厚木ピアザ 高1 日高広夢)



セルラスの海外ホームステイ交流

青少年（小4～大学生）や大人が一人で、また小さい子を連れて親子や家族でなど、提携受入れ機関を通じて、海外へホームステイ交流に出かけます。

ホストファミリーは無償ボランティアで、外国から来る私たちとの新たな出会いを楽しみに受入れてくれます。「セルラス活動歴やことばができる・できない」は一切、関係ありません。

人に会いに行くホームステイ交流は、たとえ短期間でも、家族の一員となって共に生活するので、観光旅行では決して味わうことのできない、まさに一生ものの出会いや体験となります。

また、単に個人が行って帰ってくるだけでなく、行く前にはピアザと一緒に交流に行く仲間と準備をし、帰国後はいろいろな場で報告をしていくことも、セルラス・ホームステイ交流ならではの！

この準備活動、そして帰国後、仲間たちに繰り返し自分の体験をことばにほどいていくことを通して、楽しかった思い出として終わるのでなく、たくさんの宝物が見つかっていきます。

青少年海外ホームステイ交流

青少年ならではの柔軟な時期に、親元を離れ、海外にもうひとつの家族を作りに出かける大冒険は、何物にも代えがたい貴重な体験と大きな視野を育てます。ホスト家族の一員になれるような交流を目指し、敢えて1人1家庭でのホームステイです。

仲良くなった人たちが話すことばは外国語でなく、きっと愛しい家族のことばになるでしょう。



韓国の友だち、アンニョンハセヨ！

原則同年代の青少年がいる家庭がホストファミリーとなります。数回の事前研修会では、本人たちが仲間と共に準備していくだけでなく、親子で参加してもらうことにより、準備を通して親子関係や家族を見直す良い機会となり、親の心構えや親同士のネットワークができていきます。隣の国を飛び越えて世界は無い！交流を通して、まさに兄弟の国、もうひとつの家族の国になります。



青少年メキシコホームステイ交流

子供のいる家庭にホームステイします。社会人&家族交流と合体して実施しています。メキシコの1年の中で家族や親戚にとって一番大切なクリスマスと一緒に過ごしたり、新年を迎えるカウントダウンを体験でき、大きく熱い心を持ったメキシコのホストファミリーや友人と共に、日本とは全く違う文化や習慣を体験でき、世界がぐっと広がります。

青少年アメリカホームステイ交流

子供のいる家庭へホームステイします。(大学生は大人とみなされるので、子供がいる家庭とは限りません)夏はアメリカの大自然の中での青少年キャンプ(3日～1週間、コースにより異なる)にも参加し、日本ではなかなかできない経験ができるのも魅力です。アメリカ交流を日本で30年に渡り行っているNPO法人ユートレックを通じて派遣します。

今後のセルラス・ホームステイプログラム日程 (2016年度)

- ◆「韓国の友達、アンニョンハセヨ！」青少年韓国ホームステイ交流 7月29日(金)～8月5日(金)
- ◆青少年アメリカホームステイ交流(NPO法人ユートレックを通じて) 7月下旬～8月下旬・3月下旬
- ◆アメリカ公立高校交換留学プログラム(NPO法人ユートレックを通じて) 8月中旬～10月
- ◆社会人&家族 韓国ホームステイ交流 12月23日～12月28日(予定)
- ◆社会人&家族&青少年 メキシコホームステイ交流 12月23日～1月3日頃(予定)

☆各プログラムの内容はHPに掲載しております。

<http://www.celulas.or.jp>



人と向き合う

ある
ある

想像力と創造力

音声

必然性

5月から全国でリートレと同じく、セルラスの多言語活動3原則について、「自分の体験を通して考え、プレゼンする！」が始まっています。よくわからない～！や、こんなのでいいの～？の声も・・・。

まずは、つぶやき始めた声をひろってみました。

(文中のRP：ロールプレイのこと)

小木曾歩

ピアザで私がおかしなことを言った瞬間「シエマ?!」と息子に突っ込まれた。まさにそれは、中国語でRPしている場面の言葉だった!

辻川啓星 (小6)

ピアザで急に、昔やった場面をRPすることになり、覚えてないから無理と思ったけど、チャレンジした。そしたら人に向かって場面が想像できたとなん、忘れたと思ったスペイン語が言えて、自然と動作まで出てきてびっくりした。

小池蒼依 (高2)

バイト先で、メキシコ人のグループが入ってきた。「オラ～！」って言うとスペイン語がわかるの?と聞かれ「ボコ」って言ったら、ワーツとスペイン語で自慢の娘にある感じのことを聞かれ、すぐに何歳なの?って聞かれてるとわかった。すると、テングキンセアニョス(15歳)って私は答えた。なぜかという、友だちがメキシコに行く時、自己紹介で言ってたから、考える間もなく出てきた。音声と想像力と、必然性が全部つながってた気がします。

富田聡子

小2の息子はシャドウイングを始めて最初は鼻歌を歌うようなハミングなのに、1週間もするとことばになって、韓国語で言い始めたのにびっくり!

近藤楽人 (高1)

牛丼屋さんで外国人が僕の食べているネギたま丼を食べたそうにしていたので、自分から話しかけて注文してあげた。今までの自分ではこんなことできなかった。リートレで伝えようとする気持ちと分かっていく感じが二つそろえば、言葉は通じると聞いたが、その通りだと感動した。

井上明音 (中1)

中学の英語の勉強では、何度ノートに英単語や日本語の意味を書いて覚えようとしても頭に入っていない。相手もいなくて、音声もなくて、イメージもわからない、3原則の要素がなにもないからかも。

戸塚萌絵 (中1)

4年生で韓国交流をした時、ホストのオンマと息子の会話を聞いていて、何度も出てくる「アラッソ」という言葉をキャッチした。その口調と、使ってる場面で『わかった』ということだと想像して、帰国後合っていたと知り、嬉しかった。今の私なら、その場でオンマに「こついう意味?」と、言葉、ジェスチャー、いろんな方法で聞いて、その場で相手の言ってることが全部わかる自信があるのにな～。

嘉崎佳代

一歳半の娘を見て3原則を体験中!絵本の中のフレーズを言うと、音声と想像力を駆使してちゃんとその絵本を探し出して持ってきます。

田中遥

日本語が日々すごいスピードで増えている2才半の娘は、ロールプレイが大好き!私が言う言葉をまさにシャドウイング。「よし、それじゃあ、世良家御一行様、国際交流報告会へ出発とまいりますかー!」→「よし、・・・ま、・・・へ、・・・すかー!」と語尾だけ言う。毎週だんだんと「よし、・・・こうさま、・・・かいへ、・・・ますかー!」と言える音が増えていく。日本語RPの時、仲間が「カンパゲッタ～!」と韓国語で叫んだら、そのあと娘は何度も嬉しそうに「カンパゲッタ～!」と叫んでいた。

「3原則がここにあった!」千葉千里

ピアザでセルラス・ストーリークイズをやった。「お父さんの世良栄治さんは、何関係の仕事をしていらっしゃる?」という問題が出た時、小1の娘は「え?何?もう1回言って!」とわからない様子。もう1度、問題を言ってもらった次の瞬間、「コンチュク カンゲー」と娘の口からポロツと韓国語が出てびっくり!!まだ「建築関係」という日本語も知らない娘。ストーリーの大まかな場面とそこで聞こえる韓国語の音が知らず知らずのうちに入っていった!きつと、自己紹介のシーンで仕事のことを言っているというざっくりとしたイメージと「お父さんは何関係の仕事?」という音、そしてクイズに答えて勝ちたいという必然性が揃って、必死に考えるとかでなく、瞬間的に出た答えだと思った。



山田雄心 (小2)

小1の時イギリス人を受け入れた。言葉は通じないけど、ジェスチャーとかで、一生懸命将棋を教えてあげたら、その人は将棋ができるようになってうれしかった。でもぼくが負けた。

木下蒼平 (小3)

韓国語のRPをしている時、お父さんに「意味わかるの？」で聞かれたけど、RPしてるから全部わかるって答えたよ。

山川帆波 (中1)

中学校の英語の授業で、ピアザでRPやったところがたくさん出てきて、ほとんど何を言っているのかが分かった。

夏目葉太 (小6)

韓国交流に行った時に、皿うどんを作ってホストファミリーに食べてもらいたくて、オンマに、皿うどんのパッケージを見せて、包丁で切ったり、炒めたりするジェスチャーをやって伝えたら、分かってくれて、オンマにその後「何が必要なの？」と訊かれたことがすぐ分かった。そうしたらホストが冷蔵庫を開けてくれたので、これとこれってほしい物を指で指して、必要なものがもらえて、皿うどんを作れた！

尾本隆之佐 (小3)

家で明日の学校の用意をしていたら、「チュンブンロンイ…」と頭に浮かんだ。これは何だろう？と最初分からなかったが、すぐ、中国語のオープニングの場面のことは「真不容易(チュンブンロンイ)：本当に大変ね。」というところだとわかった。自分のことじゃなくて他の人のことを「大変ね」と言っているセリフなんだけど、自分が明日の学校の用意をしながら「宿題しなくちゃなあ！あ～あ！」みたいに思っていた時に浮かんだので、びっくりした！

夏目紗良 (小3)

字幕映画を見ても漢字が良く分からない。でも、物語を見て、想像していれば何を言ってるのかわかる。

井上気比子

韓国ホームステイから帰ってきてからCDの「マーニモゴラ」が聴き取れるようになった。ホストのおばあちゃんは日本語が話せないけど、一緒にいて、お菓子や食事の時にいつも言ってくれていた言葉だった。

沢山食べてね！

「セルサスの必然性」 長澤 範子

セルサスのいう必然性とは、人に向かうことによって初めて生まれてくると思います。先日、10人の留学生を迎えてバーベキューをすることになり、私も参加しました。それぞれにホストがつくことになり、私はアメリカの18歳イケメン、レミー君とペアになりました。レミー君は、明るく誰とでも気軽に話せる青年だったので、途中から私は、他の留学生達とも、おしゃべりを楽しみました。気がつけば10人全員に話しかけていました。勿論セルサスメンバーとも、いっぱい話し、バーベキューを食べるのを忘れたくらいです。以前の私とは、大違いです。別に知らない人と話したいとも思わず、周りに留学生がいても知り合いの日本人とだけ話していました。

今、目の前にいる人と向き合い、話したいと思う。そこからしか、必然は生まれないのだと思います。この人と向き合い、話したいという思いは、努力して話さなければいけないというものでは、決してありません。自然に湧き出てくる思いで、ピアザでの活動、特にロールプレイで養われるものだ、感じています。

三宅咲良 (高2)

弟がRPをしているのを何度か見て、自分が初めてRPした時、一度もしてないのに場面はもちろん韓国語もばっちり入っていた。弟が話す調子や姿のとおり、私の中に入っていました。

河野麻奈帆 (高1)

韓国レストランの看板にカタカナで書かれた「モクチャ」という文字から、モゴを想像した。そしたら食事の場面の「チョニョンモクチャ」の「モクチャ！」を聞いた瞬間、意味が分かった。

勝本明香

2才の息子に「ムイ・ボニート」と言うと、なぜか両手をほっぺに当てて、首を横に倒してかわいい顔をしてくれる。かわいいって意味知っているの？いや、知らないはず。

藤原初夏

公園で遊んでいたロシア人のおじいさんとお孫さんに声をかけた。まだロシア語CDが出来上がる前だったけど、ロシア語しか話せないおじいさんと、ロシアでは冬になると広場が凍ってスケートをするのだとか、いろいろジェスチャーも使って話してくれて、一時間以上もおしゃべりしてしまった！

まだまだあなたの身近にある3原則体験！

このテーマはこれからも続きます。

ピアザでもっともっと出し合っ
ていきましょう!!

セルラスが出会った留学生

トラン イキチング (エドマン)
香港出身

鳥取県観光交流局 観光戦略課 勤務



こんにちは！エドマンです。今年の3月に上智大学の言語学修士課程を卒業。
日本に来て3年です。2015年青少年サマーキャンプと
2016年リーダーズトレーニングキャンプに留学生リーダーとして参加しました。

日本に来てよく聞かれることがあります。

一つ目は日本語を勉強しようと思ったきっかけです。
小学校の時、ポケモンのゲームをやって、日本語が読めないからピカチュウに使えないスキルを4つ習わせてしまって、攻撃さえできなくなりました。ピカチュウに申し訳ない気持ちになって、いつか機会があったらちゃんと日本語を勉強しよう決めました。

二つ目は名前のことです。よく「ベトナム人ですか」と聞かれます。私の苗字は「陳」で普通「チン」と言いますが（広東語では「チャン」）、私の「陳」は「トラン」と言います。なぜかという、私のお父さんはベトナム生まれで、「陳」をベトナム語でいうと「トラン」になるからです。と言ってもお父さんも中国系の人で、私も香港で生まれ育ち20歳まではベトナムへ行ったことはありません。ちなみに、「トラン」はベトナムで2番目に多い苗字です。

三つ目は「何ヶ国語話せますか」とのことです。香港に英語ができる人が多くて、北京語ができる人も少なくないです。日本語と母語の広東語を加えて4つになります。その他にも幾つかを勉強していますが、レベルはそれぞれ違いますので、数えにくいです。自分の日本語のようにある程度話せる言語もあれば、挨拶しか出来ない言語もあります。

四つ目は「何でそんなに多くの言語を習いますか」とのことです。英語さえできれば世界に通じて、「XX語」を勉強する必要がないよとよく言われます。それは違うと思います。私は様々な国から来た留学生がいる寮に住んでいました。「わかる」をタイ語で「カウ・チャイ」と言います。「カウ」は「入る」、「チャイ」は「心」の意味です。英語で話すと、その言葉は相手の頭に入って考える事を通して理解されますが、相手の母語で話すと、その言葉は直接に相手の心に入って（「カウチャイ」）親切で距離感も縮まります。私もタイ語でタイ人と話したら相手がすごく喜んでくれた経験があります。できれば挨拶だけでも、相手の言葉で言うようにしています。

セルラスのキャンプに2回参加させていただきました。キャンプで遊びながら様々なことを考えさせられました。日本の大学で勉強して、日本人は積極的に自分の意見をあまり言わない印象を持っていました。しかし、セルラスの子供は違います。

彼らは自分の意見をまとめて言えるだけではなく、みんなの前で手をあげて積極的に自分の意見を言えます。その勇気は大切なものだと思います。言語の習得にも大切なものです。



言語の習得については、子供が大人より早く身につけられるとよく言います。その原因は一体何なのか、少しわかったような気持ちになりました。

赤ちゃんは生まれてから意味も知らない音に囲まれています。音が出たら興味を持って聞いたり、間違いを恐れずに大人の言葉を真似したりします。こういうことが大人はなかなかできません。大きくなると間違いが恥ずかしくなってきます。間違えたら笑われるのではないかと思ひ込み、黙ってしまいます。だが、私は間違いこそ習得のチャンスだと考えます。仕事でないなら、むしろどんどん間違えて教えてもらった方がいいです。1回笑われたら強い印象が残って、間違えにくくなるからです。

今、鳥取県庁で国際交流員の仕事をしています。香港⇄鳥取の直行便を飛ばすために様々な努力をしています。これから香港と鳥取、ひいては香港と日本の架け橋になればと思います。

世界クイズ ~イランの人に聞きました!~

C. イランでお正月に飾るものは何でしょうか?

- ① ペルシヤ猫
- ② 蛇
- ③ 金魚



B. ペルシヤ語で乾杯は何というのでしょうか?

- ① サバデイ
- ② サラーム
- ③ サロマテイ



A. イランのお正月は日本のどの時期でしょうか?

- ① 春分の日の前後
- ② クリスマス
- ③ 秋分の日の前後



お父さんの目線

お父さん、ピアザへ Let's go!

菊池哲也 (梅田ピアザ)
ビルメンテナンス会社 代表取締役



息子が小学2年生の時、学校で配付されたセミナーのチラシを見たのが、セルラスとの出会いでした。仕事をする上でも、よりよい家庭を築くためにも、コミュニケーション力を高めることが、学校でいい成績を取るより重要であると考えていた私は、妻と息子を連れてセミナーに参加しました。

セミナー会場では、子供たちもコーディネーターの方々も生き生きとした表情で、大勢の人たちの前で自己を表現していました。息子もこんなふうになってほしいと思い、その日に入会を決めました。

参加してみると、父親は私だけ。日本での父親の地位の低さの原因を垣間見たような気がしました。子供の教育に真正面から取り組む父親が少ないのかなと思いました。

私がピアザで意識して取り組んでいることは、素直に勇気を持って自己を表現すること。これは生きていく上で本当に大切なことなのに、照れを感じたり、チャレンジ精神が衰えてきたりして、それをしなくなった大人が多いように思います。私も初めはやや抵抗がありました。先ず親が実践しなければ、息子も取り組まないと、私自身がロールプレイやプレゼンを通して自己表現することに挑戦しました。

私達はセルラスに通い始めて2年経ち、息子は知らない大人(国籍問わず)と会っても、人見知りしなくなりました。セルラスの活動を始めた頃は「アニョハセヨ」と言えず、「こんにちは」と言っていた息子が、今ではピアザに来た色々な国の人の言葉で自然に挨拶するようになり、その人やその国に興味を持つようになりました。

先日ピアザにネパール人のスシルさんがいらして、1時間半ずっと英語でお話してくれた際も、最後まで飽きることなく耳を傾けていました。セルラスの活動を始める前は、自分の関心のあることしか興味を持たない傾向がありましたが、今ではどんなことにも興味を持つようになりました。ピアザの中で様々な年代の人と接し経験を積み重ねることで、自然と誰に対してもコミュニケーションがとれるようになったのだと思います。

また、親子でピアザに参加することで、その日の出来事を話し合ったり、プレゼンの準備を一緒にすることで、親子の絆をより一層深めることができたことと実感しています。私が息子のプレゼンに対してアドバイスをすると、素直に耳を傾けてくれます。通常の習い事とセルラスとの大きな違いは、親子で多くのことを共有できることだと思います。

お父さんのみなさん! 職場で得た経験を、セルラスの活動に生かせば、きっと子供は父親を誇らしく感じるのではないのでしょうか? 現代の子供は、父親の働くところを見ることがほとんどありません。でも、セルラスに親子で参加すれば、どんなことにも興味をもって積極的になっていくのではないかと思います。今の日本の若者はやさしいのですが、無気力な人が増えているように感じます。父親がセルラスに参加することで、そんな状況を変えることができると信じています。
お父さん、ピアザへLet's go!



作ってみよう!

リーダーズトレーニングキャンプ2016 留学生リーダー

ティちゃんの ゼマイチュウ・フリーナイ&シルケ・パタロセ@リトアニア

肉詰めポテトパンケーキ & にしんとピーツのサラダ

ゼマイチュウ・フリーナイ

<<材料>> (4人分)

〇具

- ・ひき肉 300g (種類は何でもOK)
- ・玉ねぎ 半個
- ・塩・こしょう 少々

〇ポテト生地

- ・じゃがいも 15個
- ・卵 3個
- ・小麦粉 大さじ3
- ・片栗粉 大さじ3
- ・オリーブ油 適量

〇ソース

- ・バター 40g
- ・生クリーム 200CC
- ・小麦粉 大さじ1
- ・塩・こしょう 少々
- ・ディル 適量
- ・にんにく 1片

シルケ・パタロセ

(20cmのセルクル使用)



- ・ピーツ(缶詰)1缶
- ・ジャガイモ 2個
- ・玉ねぎ 1/4個
- ・マヨネーズ・りんご酢・ディル 適量
- ・にしん 2尾
- ・ニンジン(小)1本
- ・卵 1個

* にしんが手に入らない場合は、いわしで代用可

<<作り方>>

●ゼマイチュウ フリーナイ

- ①じゃがいもを皮のまま茹でる。
- ②みじん切りにした玉ねぎと、ひき肉を炒め、塩・こしょうで味を調える。
- ③じゃがいもの皮をむき、つぶす。卵を割り入れ、片栗粉・小麦粉を振り入れ、粘りが出るまでこねる。
- ④手を水で濡らし、ポテト生地を広げ、②を乗せ、包む。
- ⑤フライパンにオリーブオイルを広げて、焼く直前に片栗粉をまぶして両面こんがり焼く。
- ⑥ソースを作る。バターと生クリームと塩・こしょうを鍋に入れ、小麦粉を振り入れる、とろみがついたら、すりおろしたニンニクを加え、最後にみじん切りにしたディルを振り入れる。
- ⑦皿にポテトパンケーキを乗せてソースをたっぷりかける。

●シルケ パタロセ

- ①にしん(いわし)を3枚におろし、マリネにするか、甘酢に漬ける。(マリネ液、甘酢分量外)
- ②じゃがいも、にんじん、卵をゆでる。
- ③玉ねぎをスライスし、りんご酢を入れたお湯にさらす。
- ④ピーツ、ゆでたにんじん、じゃがいもを千六本切りスライサーで細かくする。なければ5mm角くらいのあらみじん切りに。
- ⑤にしんを7mm角くらいのあらみじん切りに、ゆで卵、ディルは細かいみじん切りにする。
- ⑥皿にセルクルを置き、マヨネーズであえたじゃがいも、にしん、玉ねぎ、にんじん、薄くマヨネーズ、ピーツ、薄くマヨネーズ、卵の順で重ねていき、最後にディルを振り、セルクルを外す。

* セルクルがない場合は、牛乳パックを筒型に切ってスクエア型で。2人分×2個に仕上げる。
* 冷蔵庫で一晩寝かすと味がしみてさらに美味しく!



平成28年度 総会報告

平成28年6月20日(月) 渋谷区文化総合センター大和田にて、平成28年度年次総会が開催されました。正会員の皆さまからの委任状の提出、そして当日のご出席も賜り、今総会は定足数をもって成立いたしました。ご協力、心より御礼申し上げます。
また、平成27年度事業報告、そして平成27年度収支決算に関する審議につきましても、全員異議がないものと認め可決、承認されました。当日配布の資料は、各ピアザコーディネーターよりお受け取り下さい。

広がる!つながる!!《スーパーピアザ》

スーパーピアザも回を重ね、先日6回目を終了しました。嬉しいことに参加人数も増え、その日のために「仕事をお休みにして初参加です!」という方も毎回いらっしゃいます。

ピアザを越えた仲間との出会いで自分の世界が広がり、自身の話を聞いてもらったり、仲間の話に耳を傾けることで、「自分の中にある疑問やモヤモヤした気持ちが解決した」「新しい発見をしました!」という声が続出〜〜!

モチベーションをグ〜グ〜グ〜と上げて、明日のピアザ活動へとつなげていきませんか?

スーパーピアザは毎회가メンバー皆で創る場。7月にはHSP(ホリデー・スーパーピアザ)も開催します。大人も子供も一緒にピアザ創りに参加して、一歩踏み出すことで広がる世界、つながる仲間を体感しに、是非お越しく下さい!ご参加お待ちしております!!



寄稿文&4コマまんが 随時募集中!

(詳細は、本部事務局
広報プロジェクトチームまで)

セルラスでは、全国各地で様々なイベントを開催中です。詳しくはセルラス ホームページをご覧ください!メルマガも随時配信中!



発行元
ピアザ セルラス
NPO法人 多言語広場CELULAS
本部事務局
〒151-0053
東京都渋谷区代々木2-23-1 ニュースト街-1038
TEL : 03-5333-8202 (代表) FAX:03-5333-8203
関西事務所
〒553-0007
大阪府大阪市福島区大開1-10-10
TEL&FAX : 06-7493-7931 (代表)
URL : <http://www.celulas.or.jp>
e-mail : info@celulas.or.jp

= 編集後記 =

日常の多言語活動の中でどんな力が培われているか、気づくのはなかなか難しいものです。そこで5月から、全国のピアザで、自分の体験を通して多言語活動3原則について話し合いやプレゼンテーションを始めました。すると、あちこちでたくさんの声が上がってきました。

あるピアザで4年生のHちゃんが韓国ホームステイ体験の話をしました。最初は「韓国語全然話せなかった…」と言ってましたが、他のメンバーのプレゼンを聞くうちに「あっ!」と何か思い出し、さっと手を上げました。

「私は体を使って遊ぶのが好きで、ホームステイ先の4才の子たちとも取っ組み合って遊んでいたんだけど、オンマから韓国語で何か言われた瞬間、『危ないから気を付けて』という意味だとわかったことを思い出したの!」

このように、人の体験を聞いているうちに、聞く側も自らの体験の意味を見つけることがあります。

8月のセルラス青少年サマーキャンプでも「3原則」がテーマです。子どもたちが3泊4日の集中した濃い時間の中で、自分たちの体験をどう紐解いてくるか、今からとても楽しみです。大人も負けずにこれから3原則体験を言葉にしていきたいですね。



広報プロジェクトチーム一同